

空間噴霧試験結果報告書

病室内空間噴霧試験

【試験内容】

病室内落下細菌試験(広さ:29.4㎡)

【試験方法】

病室内に超音波噴霧器を設置して、次亜塩素酸水を1時間噴霧し、各箇所に設置した培地により噴霧前・噴霧後の落下細菌数を検査した。

尚、参考データとして、噴霧中(開始30分後)も併せて検査を実施。

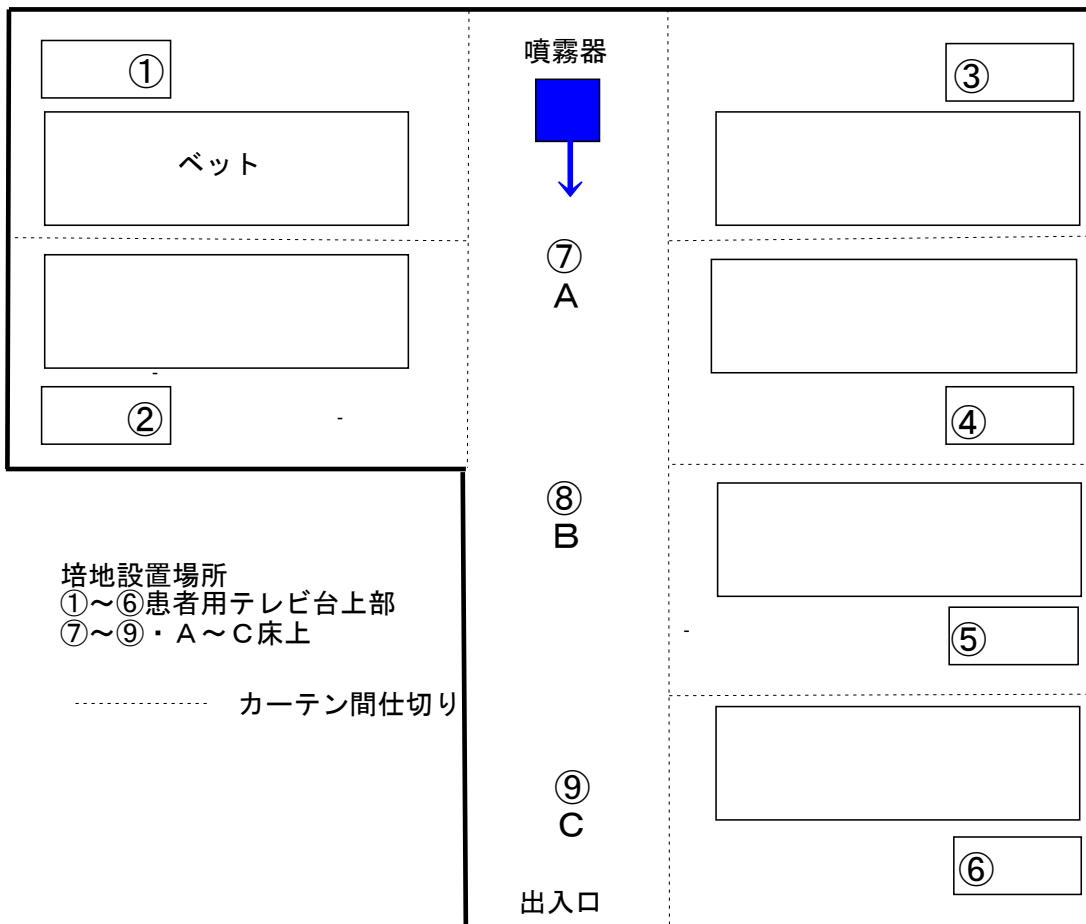
【試験資材】

次亜塩素酸水(有効塩素濃度200ppm PH6.0)

超音波噴霧器

SPC培地(30分間開放)

【設置図】



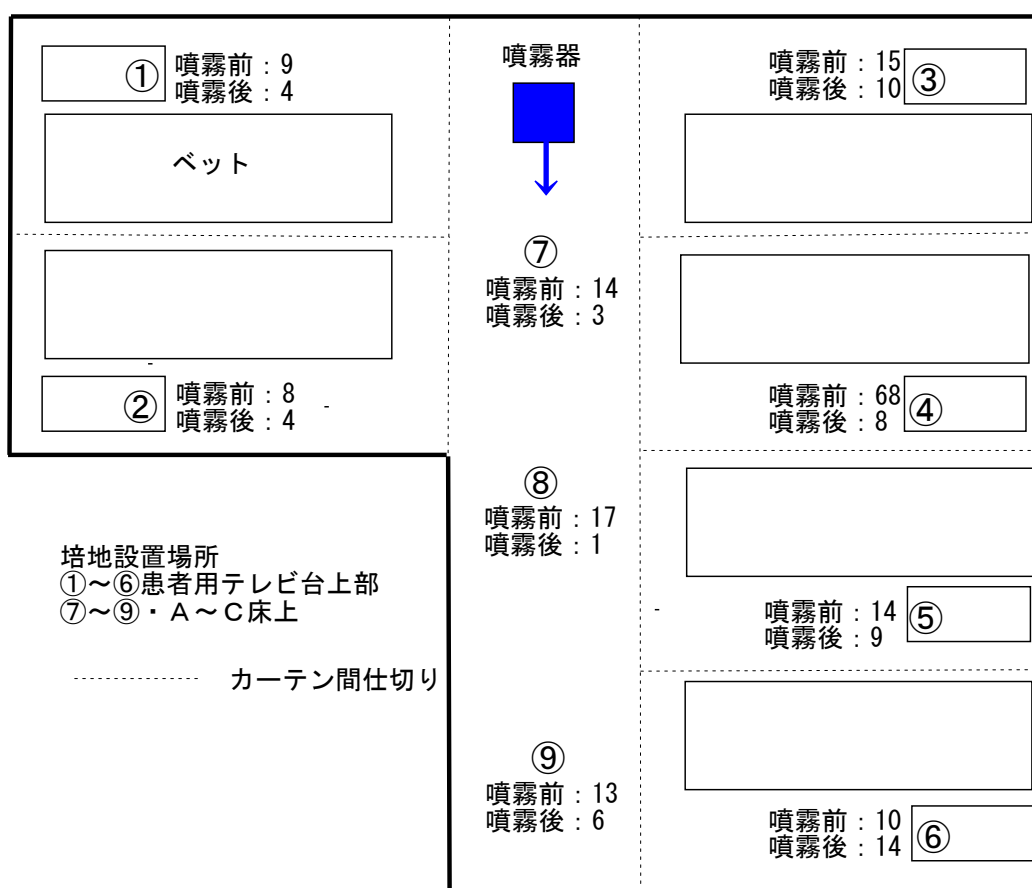
【抗菌試験結果】

噴霧前と噴霧後の生菌数を比較すると約7割減少しています。特に黄色ブドウ球菌が大幅に減少しMRSAについては全ての箇所でも陰性反応でした。

病室内を完全に無菌化することは、人が入退室することから難しいですが、噴霧時間の延長又は間欠噴霧などを行うことで更に生菌数を減少させることが可能です。また、室内の清掃時に次亜塩素酸水を使用することでより効果的な衛生管理を確立することが得られます。

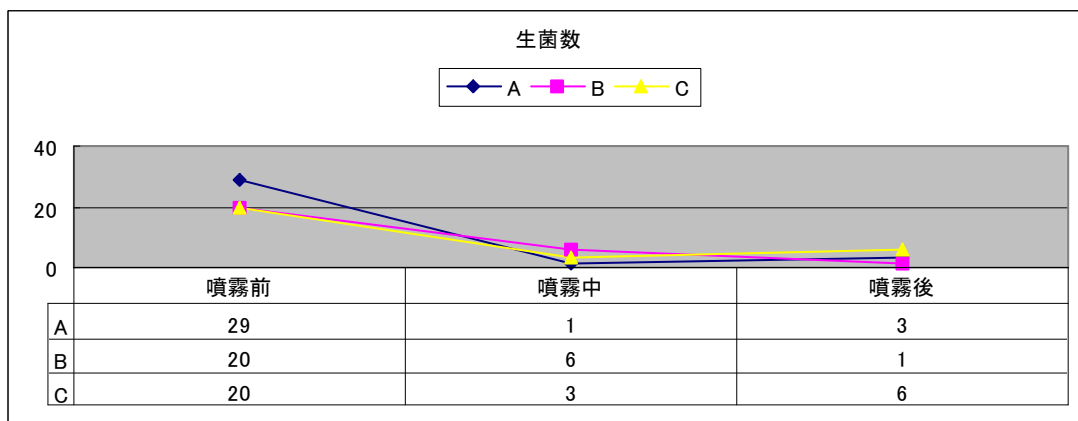
噴霧中に看護師の方に塩素臭について確認を取りましたが、問題はないとのことでした。

噴霧前と噴霧後の生菌数(培地設置箇所①～⑨ 計9箇所)



※①②の間仕切りカーテンは噴霧前は開放し、噴霧時には閉めていましたが、噴霧には大きな支障は出ませんでした。また、入口の扉は噴霧時には閉めました。但し噴霧時に看護師の方々の入室は数回ありました。

噴霧前・噴霧中・噴霧後の生菌数(培地設置箇所 A B C 計3箇所)



MRSA 噴霧前 陽性

噴霧中 陰性

噴霧後 陰性

検査会社:株式会社BML

場 所		A			B			C		
項 目	ID	噴霧前	噴霧中	噴霧後	噴霧前	噴霧中	噴霧後	噴霧前	噴霧中	噴霧後
生菌数		29	1	3	20	6	1	20	3	6
酵母菌	真菌	1	0	0	0	0	0	1	0	0
糸状菌	真菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌	陽性球菌	20	0	0	2	0	0	1	0	0
CNS	陽性球菌	1	0	2	6	0	0	12	0	4
マイクロコカス	陽性球菌	2	1	0	3	2	0	4	0	2
エンテロコカス	陽性球菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶連菌	陽性球菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コリネバクテリウム	陽性球菌	3	0	1	2	4	1	2	0	0
バチルス	陽性球菌	1	0	0	4	0	0	0	2	0
緑膿菌	陰性桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シュートモナス	陰性桿菌	1	0	0	0	0	0	0	0	0
フラボバクテリウム	陰性桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アシネトバクター	陰性桿菌	0	0	0	1	0	0	0	0	0
キサントモナス	陰性桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セラチア	陰性桿菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ストレプトコカス	陰性桿菌	0	0	0	0	0	0	0	1	0
MRSA	陽性球菌	(+)	0	0	(+)	0	0	(+)	0	0